

KMX050-B (通称名 KSR-I)
 KMX080-B (通称名 KSR-II)
レギュレータキット組付けマニュアル

ご利用に際して

このレギュレータキットは、バッテリーの充電電圧を制御するものです。KSR-I / KSR-II でエンジンの高速回転域を多用され、バッテリーが過充電になられたお客様にお勧めします。

取付けに際しましては**ARK**(カワサキの正規取扱店)にご相談ください。

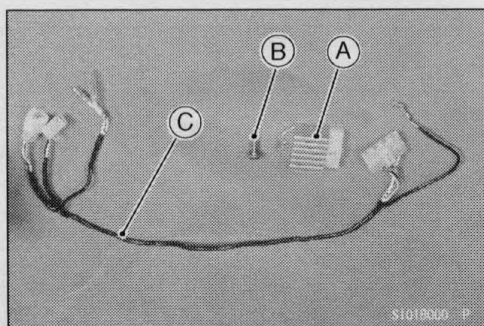
1. キットの構成

(1) キットの構成

レギュレータキットは次の部品で構成されています。

部品名		部品番号	数量	備 考
キット、レギュレータ		99999-0004	1セット	
キットの構成部品	レギュレータ	21066-1086	1	バッテリー充電電圧制御
	ハーネス	26031-0037	1	レギュレータ取付け用の配線
	ボルト	130G0616	1	レギュレータ取付け用
	レギュレータキット 組付けマニュアル	99929-1609	1	キット取付け説明書(本書)

(2) レギュレータキットの部品構成



- A. レギュレータ
- B. ボルト
- C. ハーネス

(3) キット取付けに際しての注意

レギュレータキットの取付けは、次ページ以降の作業手順に従って行なってください。なお取付け作業を安全に正しく行うために、**ARK**にご相談くださいますようお願い申し上げます。

2. キットの取付け要領

(1) 車体部品の取外し

次の順序で車体の関係部品を取外します。

(a) シートの取外し

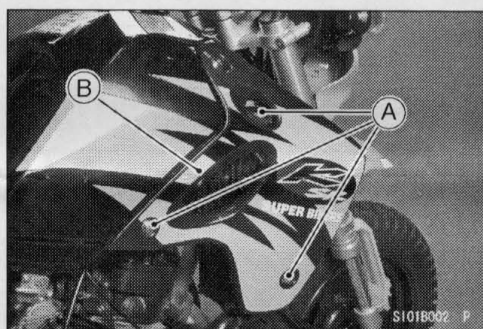
イグニションキーでシートのロックを解除し、シートを後方に取外します。

(b) 燃料タンクの取外し

⚠ 警告

ガソリンは非常に引火しやすく爆発しやすいので、必ずイグニションスイッチを切り、換気を良くしてタバコなどの火気のないことを確かめてから作業を行なうこと。

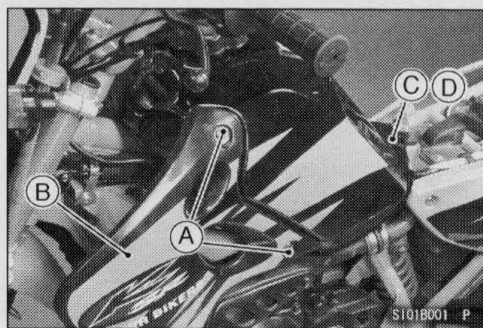
- 3本のスクリュ[A]を外し、右シュラウド[B]を取外します。



- 2本のスクリュ[A]を外し、左シュラウド[B]を取外します。

要点: シュラウドはスクリュを外した後、手前に真直ぐ引抜きます。

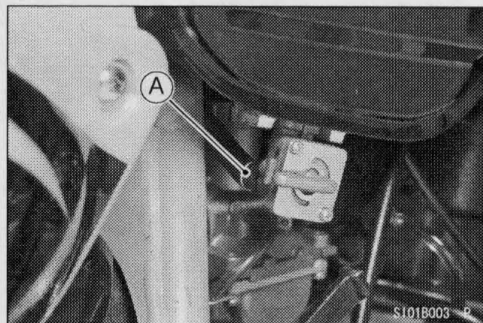
- 燃料タンク後部の割ピン[C]とワッシャ[D]を外す。



- 燃料コックのレバーを「OFF」の位置にセットして、燃料ホースを燃料コックから引抜きます。

要点: 燃料ホースの先端にあるクランプ[A]の締付けをゆるめて、燃料ホースを取外す。

- 燃料タンクを車体から取外す。



(2) オイルタンクとレギュレータの取外し

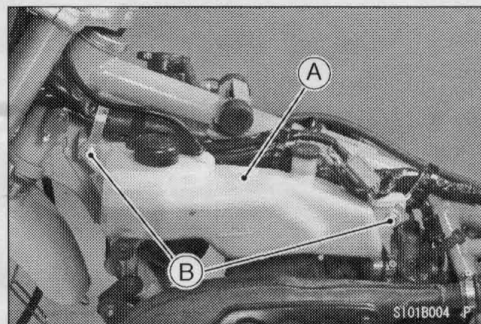
⚠ 警告

電気ショートを避けるため、作業の前には必ずバッテリーからマイナスリード線(黒／黄色)端子を外しておく。

(a) オイルタンク

- 燃料タンクの下でフレーム左側にあるエンジンオイルタンク[A]から、前後の取付けスクリュ[B]を外してオイルタンクをずらす。オイルタンクは倒れないように注意してそのまま保持しておく。オイルホースとエアベントホースは取外さない。

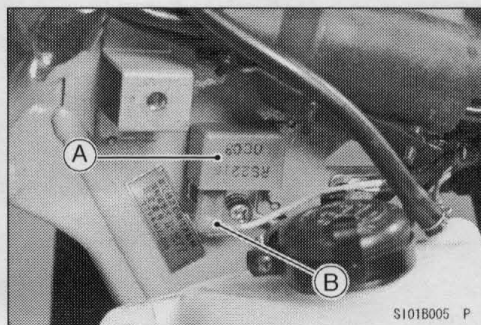
要点: オイルタンク前部はハーネスのクランプと共締めされているのでクランプと一緒に外す。



(b) レギュレータ

オイルタンク前方取付けスクリュの穴の横にヘッドライト電圧制御用のレギュレータがあるが、不要となるので取外す。

- レギュレータ[A]のリード線(黄色)の端子[B]を外す。
- レギュレータ取付けスクリュを外し、レギュレータの裏に共締めされているアース線(黒色)をレギュレータと共に外す。

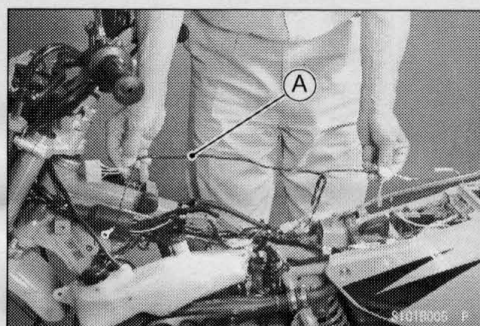


(3)ワイヤハーネスの追加

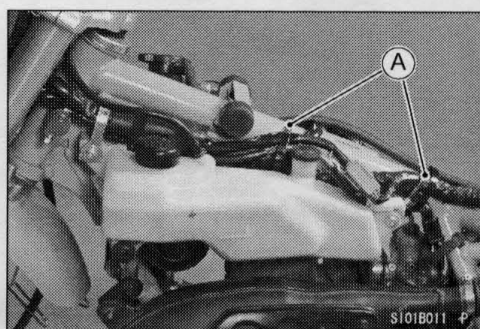
メインワイヤハーネスのバッテリー充電系統の中に、キットのハーネスを追加する。

(a)回路の変更

キットのハーネス[A]をメインハーネスの中に組込むため、リード線の前後を写真に示す位置に配置する。

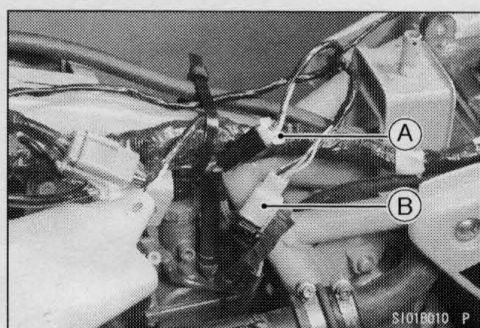


- 燃料タンクの下で、メインフレームにハーネスを締付けている2本のバンド[A]がある。それぞれのクランプのロックを解除し、締付けを緩める。
- キットのハーネスを2本のバンドの下に通す。前後の位置を写真で示す位置に合わせる。



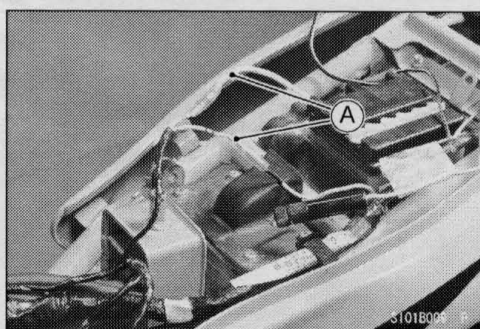
(b)フライホイールマグネトリード線変更

- シリンダヘッド左端の上に配置されているフライホイールマグネト出力リード線の4ピンカプラ(黒色)を外す。
- 取外した双方のカプラに、キットのハーネス中央部にある2個のオス[A]とメス[B]の4ピンカプラ(白色)を接続する。



(c)バッテリーリード線の変更

- バッテリーのプラスリード線(白色)のコネクタ(ギボシ)を外す。
- 取外した双方のリード線にキットのハーネス最後部にある2本(オスとメス)の白色リード線コネクタ(ギボシ)[A]を接続する。



(4)新規レギュレータの取付け

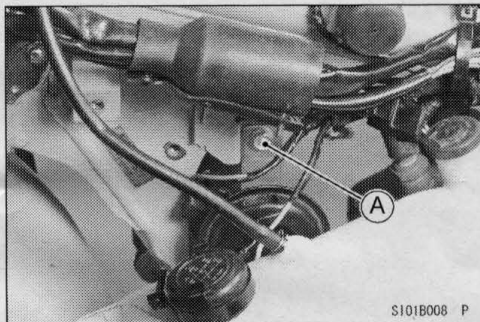
(a)ホーンとレギュレータ

ホーンブラケットの穴を利用して、キットのレギュレータを取付ける。

- ホーンブラケットの取付けボルト[A]を外し、ホーンを取外す。
- ホーン取付けボルトを、キットのボルトと交換する。

注 意

- 旧のホーン取付けボルトは不要なので使用しない。



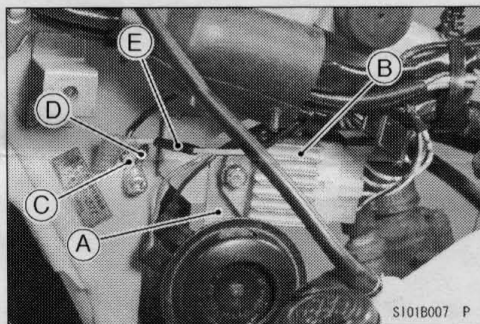
ボルトサイズ

	部品番号	サイズ
旧ボルト	130G0610	φ 6 x 10mm
キットのボルト	130G0616	φ 6 x 16mm

- ホーンブラケットの取付け穴の上に、キットのレギュレータの取付け穴部を重ねて置き、キットのボルトで共締めする(ホーンブラケット[A]が下、レギュレータ[B]が上)。

注 意

- レギュレータがホーンに接触しないよう、レギュレータのフィンを水平にして取り付けてください。



(b)キットとレギュレータのアース線の取付け

注 意

- ヘッドライト用レギュレータは不要なので使用しない。

- ヘッドライト用レギュレータの下に共締めされていたアース線(黒色) [C]とキットハーネスの先端にあるアース線(黒色)[D]の計2本のアース線を、旧のスクリューでヘッドライト用レギュレータが取り付けいていたネジ穴に締めつける。

注 意

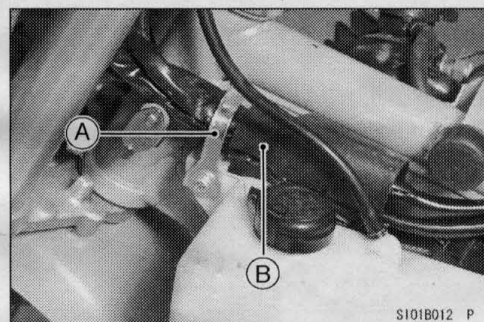
- ヘッドライト用レギュレータから引抜いたリード線(黄色)[E]はショート防止のため、テープで上記の黒のアース線に巻つけておく。

(5)車体の組付け

注 意

- オイルタンクの前部取付け部は、ハーネスクランプ [A]と共締めにする。ハーネスクランプの上部はハーネス保護カバー[B]より前方に位置するようにセットする。

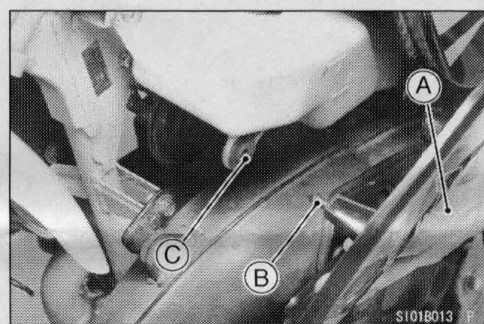
- 先に緩めていた燃料タンク下メインフレーム上の2本のバンドを締めつける。
- バッテリーの白色リード線2本をバッテリー後部のスペースにきれいに納める。
- 燃料タンクを取付け、先に取外していたワッシャと割りピンで固定する。
- 燃料タンクの燃料コックの吐出口に燃料ホースを接続しクランプで固定する。
- 左シュラウド[A]を燃料タンクに取付ける。



S101B012 P

注 意

- 左シュラウドの裏側には下部に突起[B]がある。位置決めのため、まずこの突起をオイルタンク前下部にある穴[C]に挿入し、次にシュラウドの前後を先に取外したスクリュで締めつける。



S101B013 P

- 右シュラウドを取外した3本のスクリュ(燃料タンクに2本、ラジエータステーに1本)で取付ける。
- シートを取付ける。このときシート裏側でバッテリーのリード線を挟み込まないように十分注意をする。

3. バッテリーの液面の点検

注 意

- KSR- I /KSR- II モデルは液入りバッテリーを使用しています。このタイプのバッテリーでは、通常の使用においてもバッテリー液は充電時の化学反応(電気分解)により徐々に減少します。このレギュレータキットを取付けた後もバッテリー液は減りますので、バッテリー液面の点検は必要です。
- バッテリー液面の点検は日常点検項目に含まれていますので、走行前にお客様ご自身で、バッテリー各層の液面が規程の範囲にあるかを点検してください。

以上



川崎重工業株式会社 汎用機カンパニー

P/No. 99929-1609